

平成13年度

第2回

宇都宮市図書館協議会会議録

宇都宮市立図書館

宇都宮市立東図書館

- 1 開催日時 平成 14 年 2 月 20 日 (水) 午前 10 時 30 分~午後 0 時 30 分
 2 開催場所 市立東図書館集会室 (2 階)
 3 出席委員 8 名

1	恩 田 系 子	6	小 池 清 治
2	中 島 小百合	7	広 木 邦 子
3	梅 園 杏 子	8	麦 倉 仁 巳
4	田 村 知 子	9	
5	増 淵 民 子	10	

- 4 欠席委員 2 名

1	金 子 耀 誉		
2	三 村 正 行		
3			

- 5 事務局出席者 12 名
 ・ 丹 生 生涯学習課長
 ・ 尾 本 市立図書館長
 ・ 奈良部 市立東図書館長
 ・ 事務職員 9 名
- 6 傍聴者 なし

発 言 者	内	容
	1 開会	只今から平成13年度第2回図書館協議会を開催いたします。 本日は10名の委員のうち8名の出席がありましたので、「宇都宮市立図書館条例施行規則第25条」に基づき協議会は成立いたします。
小池会長	2 あいさつ	
	3 議 事	
事務局	(1)の報告事項のア~オまでを説明	
小池会長		報告事項のア~オについて質問等がありますか。
梅園委員		(資料)17ページの学校からの要望で、3のその他、の中で陽東小からでている地域のボランティアの育成をしてほしいとは具体的には何か。
事務局		図書館でボランティアのお話し会を実施しているが、そういうものを地域の人たちに指導育成していただければ、わざわざ図書館に来なくても出来るので実施していただけないかとのこと。
梅園委員		お話し会や読み聞かせ等のボランティアとの意味ですね。
事務局		そうです。
梅園委員		もっと広い範囲のボランティアと思った。読み聞かせでしたら図書館では随分実施していると思うが、その人たちは地域に戻って実施しているのか、実施する場がないのか、皆さんには判っていない気がする。
事務局		このときの話は、図書館に連れて来られる人はよいが、家庭の事情・交通手段等の問題から、連れて来られない人には身近な集会所的なところで、気軽に行けるという話であった。
梅園委員		読み聞かせ、お話しボランティアは育っている。地域の公民館単位でそういう活動が出来る場を、自分で学んだ技術を地域に還元することがもっと出来るように地域の輪を広げていけたらいいのかなと思う。
増淵委員		親が図書館に連れて来られない子どもとはどういう子どもたちなのだろうか。子どもたちで出かけられるよう、子どもの自主性を育てることは大事にしたらいと思う。
恩田委員		学校の立場で言うと、学校では安全面から子どもだけで学区外には出かけないよう指導をしている。子どもたちは国本地区市民センターの本が充実されてきており、また、借りたい本は市立図書館からも借りられるシステムになっているので、国本地区市民センターの利用状況は良いと思う。 それから、是非子どもたちに本をということで、各学校とも保護者のボランティアの方が読み聞かせ等を行って読書を勧める学校が増えてきていると思う。

読み聞かせをある程度してくると、もっと上手になりたい、もっと効果的な本の紹介をしたいとの声があるので、そのあたりを充実させたいとの学校側の意見だと思う。

また、学校の5日制で、学校の多目的室での親子読み聞かせ等、子どもたちが読書好きになるような催し物が少しずつでも盛り込んでいけたらいいなということで、地域ボランティアの育成の声があったと思います。

書架整理のボランティアを子どもたちにやらせていただくことは、すごく意味のあることと受け止めました。これまでは、大人が企画したものに参加する形であったが、このボランティアは、子どもが図書館の仕事に携われることで、一歩進んだ事業でうれしく思います。

事務局 読み聞かせというものの意味・現状等お聞かせいただければと思う。

広木委員 子どもの本連絡会ということで、私たちの仲間がいろんなところで読み聞かせを行っていますが、ここ2・3年の間に、読み聞かせボランティアが学校へ出向くことが目立ってきた。

そういう中で感じていることは、どういった目的をもって子どもに本を与えるか、どういった意味で読んであげたいと思うのかがすごく抜け落ちている。とにかくただ本は良いものだから読んであげればよいと先行している気がする。

連絡会としても、講座を開催したり勉強会を重ねているが、なかなか学校との連携がとれないところがある。

今後の問題ですが、なぜ学校の読み聞かせなのか、なぜ子どもたちへの読み聞かせが大切なのか。そのあたりをボランティアをする方は勿論のこと、学校の先生と一緒に考えていかなければならないと思っている。

小池会長 「ことば」が身につくしくみは、耳から入るものと目から入るものがあるが、基本は耳から入る「ことば」だと思う。最初に耳から入る「ことば」は大事なことと思うし「ことば」の習得という意味から必要なことかなと思う。また、場の提供も大事なことと思う。

麦倉委員 (資料)18ページの学校週5日制に伴う図書館事業の周知方法の中に、チラシの配布があるが、できれば市の広報誌に載せれば100%に近くPR出来ると思われま。

また、いままでですと、小さいうちから身障者と健常者のふれあいが、お互いに理解が得られず遠慮があつて疎遠になっていた部分がある。

お話し会等の交流の場として、例えば、お年寄りの方に地域に伝わる民話等を話してもらうなど範囲を広げてよいと思う。

小池会長 除籍の資料で、受入より除籍の資料数が多い理由は。

事務局 12年度の曝書は、電算の工事関係で除籍できなかったものを集中的に除

籍したため多くなっています。なお、除籍した資料はリサイクルへ回しています。

小池会長 移動図書館ステーションの廃止は、利用者をみると止むを得ないと思う。
増淵委員 外国では地区ごとの図書館が充実していて、本を買う人が少なく、よく図書館を利用している。

子どもたちが自由に図書館に行けるように地区の図書館の充実を考えていただきたい。

事務局 (2) 協議事項アについて説明

小池会長 ご質問意見等ございますか。

増淵委員 ボランティアの育成と連携の事ですが、「市民の集い」で手話通訳を頼んで実施していて大変喜んでいただいている。

図書館でも手話通訳ボランティアについて配慮してもらえればと思う。

小池会長 公的施設には必要なことと思う。

事務局 現在不十分なところもあるので、今後配慮していきたいと思う。

中島委員 図書館サービスをどこでも利用できるようにオンラインでの情報提供ですが、市民センターには一般利用者が使える端末がない。

事務局 15年度からインターネットで検索できるよう準備しているが、今後考えていきたい。

恩田委員 小中学校の学校図書館の本をバーコード化したが、市の図書館と連携されていない。学校図書館の本と、市の図書館の本が結びつけて利用できるようになればよいと思う。

事務局 課題はあると思いますが、学校側と図書館側と協議を進めていければと考えています。

小池会長 (3) 委員提案事項について

小池会長 図書館アンケート、週休2日制のアンケートをありがたく感じました。

図書館アンケートで図書館の本を増やしてほしいとの声がありますが、どの図書館でも基本的な要求だろうと思う。先日の朝日新聞に、公立図書館の図書購入費が地方財政の悪化により圧縮されているとの報道があり、宇都宮市でも例外ではないと思う。一つの提案であるが、一般の方に新刊を積極的に提供してもらい利用する方法を考えてはどうか。

事務局 たくさん読まれていて予約の多い本については、一覧表を掲示するとともに寄贈の呼びかけを行っています。

また、寄贈は随時受け入れしています。

田村委員 (資料) 18ページの情報コーナーの設置はうれしく思う。

大人向けの情報コーナーとして、インターネットの掲示板の中に情報交換ができる場を作ってもらえればいいかなと思う。

増淵委員 手話ボランティアの導入を要望いたします。

小池会長 (4) その他について

事務局 (仮称) 第3図書館の建設に関する意見書について説明。

今後の予定 建設工事 平成16年度から平成17年度
オープン 平成18年度

次回の会議は8月を予定しています。

4 閉 会

